



横浜市立桂小学校

桂小だより

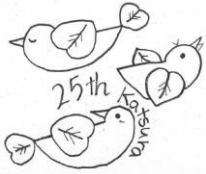
KATSURA NEWS LETTER

5月号
令和4年4月28日

Web: <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/katsura/>

学校についての詳細や学校生活については HP をご覧ください。

E-mail: y3katura@edu.city.yokohama.jp 桂小学校 HP の QR コードはこちら→



運動が好きになる教育

校長 寺澤 みゆき

小学生の頃の私の苦手な教科は、体育でした。他の教科は得意ではなくても、工夫したり練習したりすればどうにかなったのですが、体育ばかりはそういきませんでした。入学する前は、野山を駆け回っているような子でしたから、体を動かすことが嫌だと思った記憶がなく、やはり「体育」という教科が苦手だったのだと思います。

体育がなぜ嫌いだったのか。思い出してみました。徒競走が嫌い。「ようい、ドン」の「ドン」で走りだすと教わったのだけど、当時の私は、「ようい」で緊張して、「ドン」で体が一步引く。スタートが一呼吸遅れるから結果的に競走に勝てるわけがない。毎年、運動会の徒競走では「今年もスタートが遅れるのに違いない」と思い、「やっぱりね」という苦い思いを繰り返しました。

水泳はそこそこ泳げました。高学年では学校代表に選ばれ、夏休みの特別練習に参加することになりました。ところが、皆がこなしているハードな練習についていけない。挫折感を味わいました。そこそこ泳げるけれど、好きかと聞かれると、微妙な感じ。

4年生の時、逆上がりのできない私に、担任の先生が「練習するなら付き合うよ」と、声をかけてくれました。休み時間や放課後、私のペースに合わせて、一緒にぶら下がりながら教えてくれました。先生と練習するのがなんだか楽しくて、今まで一度もできなかった逆上がりが、その時できるようになりました。それからの私は、得意じゃないけど公園に鉄棒があれば、ちょっとぶら下がって逆上がりを試みようかな、と思うくらいに好きになりました。

横浜市は「『健やかな体』育成プログラム」を策定し、今年度から本校も「健やかな体の育成プラン」に基づく指導を行っていきます。「『健やかな体』育成プログラム」の注目すべき点は、運動能力の向上だけでなく「運動、食事、休養、睡眠等の健康に関する総合的な取組を推進し、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力」を育成することや「スポーツに『する』『みる』『支える』『知る』等、多様に関わるために必要な資質・能力」を育成すること、「体力や技能の程度、性別や障害の有無を超えて、仲間と学ぶ経験を通し、運動することやスポーツに親しむことの喜びを味わうための資質・能力」を育成することが、明示されているところです。つまり、このプログラムは生涯にわたって健康に暮らしたり、スポーツを自分がやるだけでなく、みて楽しんだりすることも含めた教育なのです。

すごい技じゃないけれど、努力を楽しんでやってみようと思った、またやってみようと思えるようになった。私にとっての鉄棒が、この考えに一番近い経験だと思います。

勝つこと、すごい技ができるようになるのはもちろんうれしいけれど、桂の子にはそこまでの過程で得られたものに目を向けたり、それに伴った自分の変化に気付いたりすることに喜びを感じられるようになって欲しいと、私は願っています。

5月28日(土)、令和4年度運動会です。子どもたちは4月中旬より、少しずつ練習を重ねています。運動会当日だけでなく、本番までの練習の過程にも目をとめて、そこでの成長を見とっていただきたいと思っています。

今年度も、感染拡大防止の観点から参観者は保護者のみに限らせていただきます。参観者入れ替え制で行いますため、地域の皆様にはご迷惑をおかけすることもあるかと思っております。お気配りなことがございましたら、学校までご連絡ください。

地域、保護者の皆様、5月も桂小学校の教育活動へのご理解とご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。